

平成 30 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査
北海道版結果報告書の公表における教育長コメント

(2月12日)

- 平成 30 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における本道の状況は、全国や本道のこれまでの調査結果と比較して、小中・男女いずれも多く種目で記録が上昇するなど改善の傾向が見られるものの、体育授業において設定した目標や振り返りが子どもたちに十分意識されていないことや、運動習慣が十分に身に付いていないなどの状況が見られることから、子どもたちが楽しさや達成感を味わうことができる指導方法の工夫や、目標をもって継続的に運動に取り組むことができる機会の創出など、より一層、授業改善や、運動を意識した生活習慣の定着に向けた取組の充実が必要であると考えています。

- 道教委としては、本道の子どもたち一人一人に、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育むとともに、引き続き、学校、家庭、地域、行政が一体となった体力向上に向けた取組を一層推進してまいります。